



全国に広く分布するススキは、日本人なら知らない人はいないほど身近な植物です。イネ科の多年草で、花穂を尾花といい、秋の七草の一つです。日当たりの良い各地の山野や土手などに生息しています。かつては、茅（かや）と呼ばれ、農家で茅葺（かやぶき）屋根の材料に用いたり、炭俵を作り家畜の飼料として利用することが多かった。そのため集落の近くに定期的に刈り入れをするススキ草原があって、これを茅場（かやば）と呼んでいました。

また、十五夜のお月見にススキを飾るのも、本来は病害虫や災害から農作物を守り豊作を願う農耕儀礼の名残とみられています。古来から人々の生活と月は密接につながっていて、特に農作業に従事する人々は欠けたところのない満月を豊穡の象徴とし、秋の収穫の感謝を込めて芋や豆などの収穫物を月に供えました。しかし、稲穂はまだ穂が実る前の時期であることから、穂の出たススキを稲穂に見立てて飾ったと言われています。

近年は、ススキ草原もあまり見られなくなりましたが、どこか秋の物寂しいイメージとして多くの方が野原に群生する黄金色のススキを連想されるのではないのでしょうか。

をりとりてはらりとおもきすすきかな
飯田蛇笏

第7回しまんと生姜収穫祭

四万十町の魅力ある生姜を知ってもらいたい。

■日時 / 10月13日 日
午前10時～午後3時ごろ

■場所 / 道の駅 あぐり窪川

【お問い合わせ先】 道の駅あぐり窪川 ☎22-8848

興津八幡宮 秋季大祭

400年以上の歴史ある伝統の祭り。正午ごろから、花台が農協を出発して部落から神社まで練り歩きます。

■日時 / 10月15日 火 正午～午後3時ごろ

■場所 / 興津八幡宮～小室の浜

【お問い合わせ先】
郷分区長 嶋岡 ☎080-6608-1214

chercher (シェルシェ) 2019

ハンドメイド雑貨や、こだわり食材で作られた飲食の出店と、親子で楽しめる「作る」「体験する」をテーマにした、さまざまなワークショップやアクティビティを開催します。

■日時 / 10月26日 土・27日 日
午前10時～午後3時

■場所 / 四万十緑林公園



【お問い合わせ先】 四万十公社 ☎22-4777

第63回高南地域畜産フェスティバル&コスモス祭り

毎年人気の豚レース、牛とのふれあい体験、バターやアイスクリーム作り体験など、畜産ならではのイベントが盛りだくさんです。屋台・餅投げなどご家族連れも楽しめます。みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

■日時 / 10月27日 日
午前10時～午後3時（小雨決行）

■場所 / 本堂 東又新グラウンド
（高知県立農業担い手育成センター内）

【お問い合わせ先】
高南地域畜産フェスティバル&コスモス
祭り実行委員会 ☎(JA内)22-0537

第15回米こめフェスタ

お米のお祭り、さまざまな催しものや出店もあります。

■日時 / 11月3日 日 午前10時～午後3時

■場所 / 四万十緑林公園

【お問い合わせ先】 にぎわい創出課 ☎22-3281

第44回台地まつり

2日間、窪川市街地全体がお祭り会場に。

■日時 / 11月9日 土・10日 日

■場所 / 窪川市街地一円

【お問い合わせ先】 四万十町観光協会 ☎29-6004

大正学校
給食センター編

Let's cooking!! おうちで給食レシピ

ナスとカボチャのたたき

【材料】(4人分)

材料	・ナス	200g	調味料	・酢	12.8g
	・かぼちゃ	200g		・ゆの酢	6.4g
	・揚げ油	適量		・さとう	18g
	・玉ねぎ	60g		・うすくちしょうゆ	16g
	・葉ねぎ	適量		・こいくちしょうゆ	8g
				・おろしにんにく	少々
				・おろししょうが	少々

- ①ナスは一口サイズ、かぼちゃは薄く切る。
- ②ナスとカボチャは、油で素揚げする。
- ③玉ねぎは薄切り、葉ねぎは小口切りにする。
- ④調味料とおろしにんにくとおろししょうがをまぜ、鍋で一煮立ちさせる。
- ⑤皿に素揚げしたナスとカボチャを盛り付け、④をかければできあがり。



今月の 人オウツリ 明るくて跳ねるような歌を!



▲ライブハウスで歌う narumi さん

窪川高校3年生で軽音楽部に所属している宗崎さんは「narumi」という名で活動するシンガーソングライターです。

先日、彼女が作った曲が県内のアイスクリームのメーカーのテーマソングになったという話題が高知新聞に取り上げられました。

narumiさんは北ノ川小学校から同中学校を卒業して窪川高校に進みました。ギターに興味を持って練習し始めたのは、中学1年生の秋

くらい。テレビなどで、ギターの弾き語りを見て憧れたのがきっかけなのだとか。さらに、幼い頃から、お母さんが聞いていた音楽にも影響されました。好きなアーティストは斉藤和義さんなど。お母さんに、斉藤さんのライブに連れて行ってもらったこともあるそうです。

narumiさんは窪川高校に入学してすぐに軽音楽部に入りました。そして、二人の友達とバンドを結成。どんなバンドか尋ねたところ「う〜ん・・・女性版ブルーハーツって感じかなあ」。

narumiさんとしてのソロ活動もしつつ、もちろんバンドも活動中です。

彼女に「どんな歌を作っているのですか?」と聞いてみました。「明るくて跳ねるような歌、バラードもあり



そうざき なるみ
宗崎 成美さん
(打井川)

るような歌。バラードもありますけど(笑)」という答えが返ってきました。なるみは、彼女のニコニコ笑顔と、はにかみ表情を見ていると、こちらにも不思議と心が明るくなつて跳ねるような軽やかな気持ちになります。

さて、現在高校3年生のnarumiさん。来春は地元で就職予定。就職しても大好きな「歌を作つて歌っていくこと」はコツコツ続けていくつもりです。

彼女が歌う、明るくて跳ねるような歌やバラードは、動画サイトでも視聴することが出来ます。また、高知市内のライブハウスに出演することもあるそうです。これからも人の気持ちに届く歌を作り続けて、歌い続けてほしいと思います。